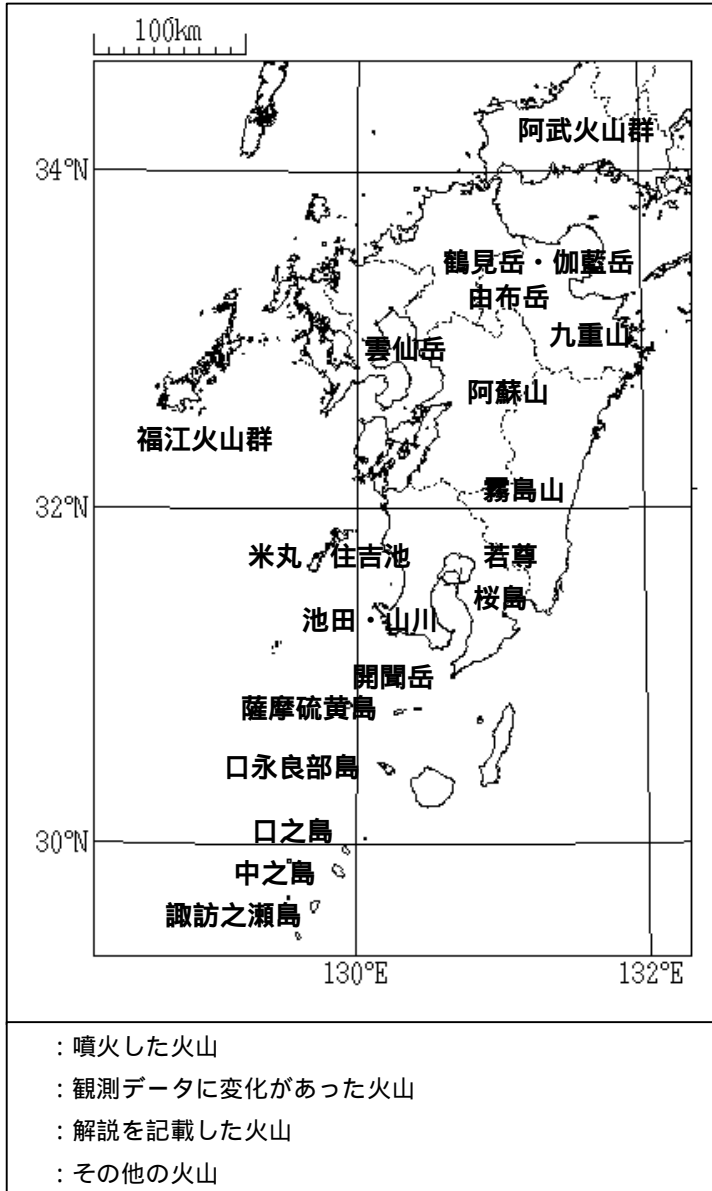


九州地方の火山活動解説資料(平成 16 年の活動)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

山口・九州地方の火山



平成 16 年の月別火山活動状況

火山名	平成16年(2004年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
阿武火山群												
鶴見岳・伽藍岳												
由布岳												
九重山												
阿蘇山												
雲仙岳												
福江火山群												
霧島山												
米丸												
住吉池												
若尊												
桜島												
池田												
山川												
開聞岳												
薩摩硫黄島												
口永良部島												
口之島												
中之島												
諏訪之瀬島												

概況

：九重山

火山活動は落ち着いた状態が続いています。

：阿蘇山(レベル2 3 2)

1月14日に規模の大きな土砂噴出が発生しました。噴煙高度は800mで、15日の現地調査では中岳第一火口から東南東約8km付近まで微量の降灰を確認しました。

火山性連続微動は、3～5月にかけて断続的に発生し、5月13日から9月29日まで連続して発生しました。また、10～11月にも時々発生しました。孤立型微動は1～2月にかけて増加し、3月以降は減少しましたが、年間を通して

やや多い状態が続きました。火山性地震は10月以降増加し、やや多くなりました。

中岳第一火口の南側火口壁下の温度は、4月(446)をピークに次第に低下しました。湯だまりの表面温度は60～80前後で推移し、比較的高い状態が続きました。また、湯だまりの量は、3～9月にかけて時々3割まで減少するなど増減を繰り返しましたが、10月下旬以降は約8割の多い状態が続いています。湯だまり内では、9月まで小規模な土砂噴出が観測されましたが、10月以降、噴湯現象はあるものの土砂噴出は観測されていません。

火山活動度レベルは、1月14日にレベル2(やや活発な火山活動)からレベル3(小規模噴火の可能性)に変更しました。その後、2月13日にレベル2に変更し、12月までレベル2で経過しました。

：雲仙岳（レベル 1）

火山活動は落ち着いた状態が続いています。

火山活動度レベルは年間を通して、1（静穏な火山活動）でした。

：霧島山

2003 年 12 月中旬から活発となった御鉢の火山活動は、時折噴気が火口縁を越えて観測されるなど、年間を通してやや活発な状況で推移しました。1 月 3 日には、継続時間 55 分の火山性微動が発生しました。また、3 月 26 日には、継続時間が最長となる 254 分の振幅の大きい火山性微動が発生し、噴気も火口縁上 800m まで上がりました。微動発生後には、一時的に火山性地震が多発しました。11 月 21 日にも、継続時間 5 分の振幅のやや大きな火山性微動が発生し、微動発生後に火山性地震がやや増加しました。

新燃岳付近では火山性微動は発生しませんでした。火山性地震も概ね少ない状態で経過しましたが、6 月下旬から 7 月上旬にかけて微小な地震がやや増加しました。新燃岳の火山活動は、全般に静穏な状態が続いています。

：桜島（レベル 2）

桜島の年間の噴火回数は 23 回、そのうち爆発は 11 回で、桜島としては比較的静穏な活動で経過しました。年間の爆発回数は最近 10 年ではもっとも少なく、山頂噴火を始めた 1955 年（昭和 30 年）以降では、1955 年（6 回）、1971 年（昭和 46 年、10 回）に次ぐ少ない 1 年でした。噴煙の最高高度は 4 月 17 日の噴火の火口縁上 1,700m でした。

火山性地震、火山性微動は総じて少ないなかで、A 型地震はやや多い状態で経過しました。

火山活動度レベルは年間を通して、2（比較的静穏な噴火活動）でした。

：薩摩硫黄島

3 月、4 月、6 月、8～10 月に時々噴火が発生し、火山活動はやや活発でした。島内の集落でも時々降灰がありました。有色噴煙の最高高度は火口上 700m でした。

火山性地震、火山性微動は比較的少ない状態で経過しました。

：口永良部島

火山性地震は 1～5 月にかけてやや多く、年の後半は少なくなりました。また、振幅の小さな火山性微動を時々観測するなど、年間を通し、やや活発な火山活動が続きました。

：諏訪之瀬島

噴火や爆発的噴火を繰り返し、爆発音を伴うなどやや活発な状態が続きました。噴火は 8 月を除いて毎月発生しました。特に 5 月 1～2 日に 39 回、6 月 7～9 日に 97 回の爆発的噴火が発生するなど、火山活動は一時活発になりました。噴煙の最高高度は、6 月 8 日、6 月 10 日の火口上 1,200m でした。

火山性地震は年間を通してやや少ない状態が続きました。また、火山性微動が度々発生し、継続時間の長い微動は数日間続きました。